

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心筋梗塞後致死性イベントの新たな危険因子探索と着用型除細動器の使用実態調査を目的とした多機関レジストリー研究

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 川口由高 (循環器科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2024年9月20日～2029年3月31日

目的：本研究の目的は急性心筋梗塞（心臓の筋肉を養う冠動脈がつまることで心臓の筋肉が壊死する病気）の患者さんを対象として、心筋梗塞発症から2年までの間に死亡や致命的な不整脈の発生に関わるリスク因子を見出すことと、着用型除細動器の使用実態を調査することです。

方法：通常診療等の過程で集積されるカルテ情報を用いた観察研究

■ 対象となる患者さん

- ・実施承認後～2027年3月に急性心筋梗塞の診断に対して当院で心臓カテーテル治療を受けた（受ける）患者さん
- ・「心筋梗塞後致死性イベントの新たな危険因子探索と着用型除細動器の使用実態調査〔研究番号22-06〕」に登録された患者さん  
あわせて1400名

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、家族歴、喫煙歴、飲酒歴、服薬状況、身長、体重、血圧、Clinical frailty scale、症状、NYHAクラス、Killip分類、心肺停止の有無、入院日、退院日、PCI施行日、AMIの型(STEMI/NSTEMI)、カテーテルインターベンション所見、入院経過中合併症、採血結果、睡眠時無呼吸検査結果、12誘導心電図、モニター心電図、不整脈の有無、24時間血圧、心臓超音波検査、BMIPP心筋SPECT、血流心筋SPECT、心臓MRI、退院時所見、予後等

■ 外部への試料・情報の提供

浜松医科大学へのデータの提供は、記憶媒体（CD-RW）に保存し、郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係

者以外がアクセスできない状態で行います。個人と情報を照合する表は、提供元の研究責任者・研究分担者が保管・管理します。

■ 研究組織

研究代表機関・研究代表者：浜松医科大学 内科学第三講座 成瀬代士久

共同研究機関：聖隷三方原病院 循環器科 川口由高

浜松医療センター 循環器内科 澤崎浩平

浜松赤十字病院 循環器内科 神田貴弘

富士宮市立病院 循環器内科 若原伸行

磐田市立総合病院 循環器内科 児玉圭太

JA静岡厚生連遠州病院 循環器内科 高瀬浩之

静岡市立静岡病院 循環器内科 影山茂貴

市立湖西病院 循環器内科 浅井正嘉

静岡県立総合病院 循環器内科 坂本裕樹

中東遠総合医療センター 循環器内科 森川修司

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

川口由高、循環器科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971